

未来へ受け継ぐ Things to inherit to the future

日本人の忘れもの 知恵会議

京都の伝統に学び、次世代に暮らしのメッセージを発信する企画「日本人の忘れもの知恵会議」。

おがわ・さやか 1978年生まれ。文化人類学。国立民族学博物館研究員を経て立命館大学総合学術研究科教授。



3年創業で、御室仁和寺の造園に携わってきた植藤造園。祖父は後守として知られる16代目・佐野藤右衛門さん。プロスノ「ポーター」を目指して海外を転戦後、造園業へ。

対談

文化人類学者 小川 さやかさん 造園家 佐野 友亮さん

は「ない」が祖父の口癖です。私も3年、5年、10年と長いスパンを意識して庭造りに取り組んでいます。

佐野藤右衛門 京都市右京山崎 越中町の造園家・植藤造園の当主。16代目・佐野友亮さんとの交流でも知られている。

造園業、人と自然仲介 先人の技術を学び継承

小川さん

佐野さん

打つては「いい」ということで、身に付けてきました。改めて自分の生い立ちや家庭環境を振り返って職業を考える

現在、庭造りに携わっているが、まだまだ一人前ではありません。草刈りや水やり、街路樹の剪定もやります。

ミニケーションの意義を再考したり、大学という場の新しい価値を模索したりする動きもあり



満開の頃の植藤造園のシダレザクラ。遠方に広沢池が見える(3月30日、京都市右京区)＝小型無人機から 撮影・増山遼



キリマンジャロの麓に住むチャカ族の家屋は、屋敷畑に囲まれているバナナなどの作物が混作される畑は独特の景観をつく出し、庭の機能も果たす。

佐野 造園業では、若い人材がなかなか定着しないのが悩みです。近年は昔ながらの「見て覚える」ではなく、手取り足取り丁寧に教える、仕事の楽しさを伝えるようとしています。

drawing the future of Tomorrow

私たちは「日本人の忘れもの 知恵会議2020」に参加しています。

- アサヒビール株式会社 京滋統括支社 学校法人 京都産業大学 ジーク株式会社 TOWA株式会社 株式会社 フクナガ